

小倉国際流通センター株式会社

I 法人の概要（平成 30 年 4 月 1 日現在）

- 1 所在地 北九州市小倉北区西港町 109-2
- 2 設立年月日 平成 9 年 9 月 25 日
- 3 代表者 代表取締役社長 山田 康一郎
- 4 資本金 465,000 千円
- 5 北九州市の出資金 20,000 千円（出資の割合 4.3%）

6 役職員数

	人 数			
	合 計	うち本市からの派遣	うち本市退職者	うちその他
役 員	7 人	0 人	0 人	7 人
常 勤	0 人	0 人	0 人	0 人
非常勤	7 人	0 人	0 人	7 人
職 員	1 人	0 人	0 人	1 人

II 平成 29 年度事業実績

小倉国際流通センター株式会社は、市内・広域の物流事業の拡大を図るとともに、当地区の物流機能の発展に寄与することを目的として、物流高度化倉庫（小倉国際流通センター）の賃貸業等を行っている。

平成 29 年度の業績概要は、総収入 80,460,537 円、総支出 69,831,600 円、税引前当期純利益 10,628,937 円となった。

1 営業概況

平成 12 年 9 月 1 日に営業を開始した小倉国際流通センターは、平成 29 年に 18 年目を迎えた。「最低限のコスト体質による事業運営」という方針を徹底した結果、平成 29 年度において 605 万円の純利益を計上した。また、平成 30 年 3 月には資金的余力を生かし長期借入金の繰上げ一括返済を実行、借入金を全額返済した。

2 営業方針

「収益向上の事業運営と今後の経営方針の確立」

3 主要な事業内容

- ・不動産賃貸業
- ・北九州港における物流機能の整備についての調査研究
- ・北九州港への航路誘致、集貨のための情報収集、調査研究等

・前各号に付帯または関連する一切の業務

Ⅲ 平成29年度決算

1 貸借対照表(総括表)

平成30年3月31日現在(単位:円)

資産の部		負債の部	
科 目	金 額	科 目	金 額
【流動資産】	【 19,055,194】	【流動負債】	【 5,567,681】
現金預金	4,572,350	未払金	985,143
売掛金	14,482,844	未払法人税等	3,343,000
【固定資産】	【 492,016,428】	預り金	6,738
[有形固定資産]	[491,813,088]	未払消費税等	1,232,800
建物	997,372,574	【固定負債】	【 10,800,000】
建物附属設備	115,995,000	修繕引当金	10,800,000
構築物	35,782,000	負債合計	16,367,681
機械装置	70,454,000	純 資 産 の 部	
減価償却累計額	▲727,790,486	【株主資本】	【 494,703,941】
[無形固定資産]	[145,070]	[資本金]	[465,000,000]
電話加入権	145,070	[利益剰余金]	[29,703,941]
[投資その他の資産]	[58,270]	(その他利益剰余金)	(29,703,941)
長期前払費用	58,270	繰越利益剰余金	29,703,941
		純資産合計	494,703,941
資産合計	511,071,622	負債・純資産合計	511,071,622

2 損益計算書（総括表）

自 平成29年4月 1日

至 平成30年3月31日（単位：円）

科 目	金 額	
【売 上 高】		
売 上 高	80,460,264	80,460,264
売上総利益		80,460,264
【販売費及び一般管理費】		69,186,730
営業利益		11,273,534
【営業外収益】		
受取利息	119	
雑収入	154	273
【営業外費用】		
支払利息・手形売却損	644,870	644,870
経常利益		10,628,937
税引前当期純利益		10,628,937
法人税、住民税及び事業税		4,579,015
当期純利益		6,049,922

IV 平成30年度事業計画

平成30年度の重点実施事項は次のとおり。

1 財務上の取組み

資金的余力を活かし老朽化した倉庫設備の改修に重点を置き、倉庫環境の改善を図っていく。
また、手持資金の増加に伴い、出資株主への還元を検討課題として提案する。

2 施設管理・運営上の取組み

小倉国際流通センターの完成から約18年が経過し、施設の老朽化や設備の故障が増加する傾向にある。前期は大型シャッターの修理が2枚発生し今期は4月に垂直搬送機のアンプの交換等を予定、修理費用も高額であるが交換部品の生産中止の情報もあり、今後の対応が重要である。

また、2年後の平成32年には、築20年に至り、大規模改修の時期を迎えることから、収支・資金を踏まえた予算の具体化が必要となる。

V 平成 30 年度予算

1 予定損益計算書

自 平成 30 年 4 月 1 日
至 平成 31 年 3 月 31 日 (単位：円)

科 目	平成29年度実績	平成30年度計画	増 減
[売上高]	80,460,264	78,649,896	▲1,810,368
[販売費及び一般管理費]	69,186,730	70,660,770	1,474,040
営業利益	11,273,534	7,989,126	▲3,284,408
[営業外収益]	273	2,000	1,727
受取利息	119	2,000	1,881
雑収入	154	0	▲154
[営業外費用]	644,870	0	▲644,870
支払利息割引料	644,870	0	▲644,870
雑損失	0	0	0
経常利益	10,628,937	7,991,126	▲2,637,811
[特別損失]	0	0	0
[法人税等]	4,579,015	3,442,000	▲1,137,015
当期純利益	6,049,922	4,549,126	▲1,500,796
繰越利益剰余金	29,703,941	34,253,067	4,549,126

VI 役員名簿

平成 30 年 7 月 1 日現在

役 職 名	氏 名	備 考
代表取締役社長	山 田 康 一 朗	山田港運倉庫(株) 代表取締役社長
取締役	徳 光 昌 己	山九(株) 北九州支店支店長
〃	鶴 丸 俊 輔	鶴丸海運(株) 代表取締役社長
〃	京 極 明 博	(株)上組 八幡支店支店長
〃	片 山 久 夫	北九州市港湾空港局港営部長
〃	黒 沢 崇	日本通運(株) ひびき海運支店長
監査役	榊 原 祥 浩	日鉄住金物流八幡(株) 物流営業部 小倉営業所所長